

委員ニ對シ社長ヨリ説明スルトエロアリシ
之実行委員ハ増給ノ類ハ実施時機ノ言明ヲ
得ル迄ハ退社シ難シトテ動カズ依ツテ會社
側ハ本問題ハ果シテ職工等ノ真意ヨリナル
カ或ハ職首者等他ノ使成ニヨルモノナルカ
及ビ實際以上ノ必要アルカヲ職長組長ノ意
見ヲ求メ下シトテ其旨工場ニ電話ヲ攻テ通
シ午後十時職長組長等ノ出社ヲ見之レニ
リタルニ職長組長ニ不意者モ有り旁々一旦
工場ニ引揚ガ協議ヲ遂ゲ意見ヲ纏テ申出
ルニト、シテ翌午前六時工場ニ引揚ガ全
八時半頃ニ至リ決定セル意見ヲ申出テ
其間職工等ハ様子ニ等リ懺悔シ回春期行

安部
解決案

待テルカ社長ハ全部ヲ笹村事務ニ委シ今八
時頃退レ依ツテ今事務ハ交渉ノ衝ニ當
ルニト、ナリ午後一時頃ヨリ実行委員トノ
再交渉ニ入り折衝ノ結果尤ノ妥協案ヲ得
要求条件第一項ヲ記述ス、
従来ノ実収入ノ増加セサル範圍内ニ於テ
是額ノ時給ヲ一割以上三割内外支給ス
五月二十六日ヨリ実施

第一項 解雇手続規定ハ會社ニ於テ世間並ニ標準ニ於テ規定スル
第二項 労務會議規約ハ會社ト直接ノ問題ニテラサル故ニ問題ト放ス
第三項 評議員ノ數ヲ會社職工同數トナルノ議解アリ
ハ前夜中ニ決定

尚ホ職工側実行委員モ漸ク納得セルモ一般
労働團員ノ賛否ヲ求メタル上諾否ヲ決スバ